

皮膚科学講座

【教育】	
1. 到達目標	学部生教育については、コアカリキュラムに記載されている内容を理解させる。
2. 現状説明	座学、臨床実習を通じて、可能な限り症例に触れて、皮膚科疾患を習得させる。
3. 点検・評価	試験や臨床実習中の口頭試問で到達度を評価する。
4. 目標・改善方策の達成度	座学では系統的に学び、臨床実習では担当患者を通じて最小限必要なことは、おおよそ習得できている。
【研究】	
1. 到達目標	英文論文は10本以上発表する。
2. 現状説明	2022年度は3本のみの発表に終わった。
3. 点検・評価	英文発表論文数で評価する。
4. 目標・改善方策の達成度	2022年度は到達できていない。
【診療】	
1. 到達目標	山形県内の中等・重症皮膚疾患の患者をすべて担当する。
2. 現状説明	山形県内の中等・重症皮膚疾患、および悪性腫瘍の多くの患者を当科で担当している。
3. 点検・評価	重症疾患の代表的疾患である悪性黒色腫の患者数で評価している。10人／100万人／年のため、当県では毎年十数人の患者が発生する。
4. 目標・改善方策の達成度	2022年度は18名の新規悪性黒色腫患者が受診しており、目標数に達している。
【社会貢献】	
1. 到達目標	市民向けの文章や講演会を通じて、皮膚科領域の知識の啓蒙を行う。
2. 現状説明	市民対象のアレルギー講演会で演者として講演した。
3. 点検・評価	市民向けの文章や講演会の数によって評価する。
4. 目標・改善方策の達成度	目標は達成できている。

皮膚科学講座

業績分類		査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1) 原著	査読有	Tang Q, Sousa J, Echeverria D, Fan X, Hsueh YC, Afshari K, MeHugh N, Cooper DA, Vangjeli L, Monopoli K, Okamura K, Biscans A, Clauss A, Harris JE, Khvorova A.	RNAi-based modulation of IFN- γ signaling in skin.	Mol Ther. 2022 Aug; 30(8): 2709-2721 PMID: 35477658	IF=12.910, Q1		E
1. 論文	(1) 原著	査読有	Tanemura A, Kawabe R, Sudo Y, Yokoi K, Kabasawa T, Futakuchi M, Suzuki T, Fujimoto M	Not Follicular but Dermal Melanocyte Precursors Are Histopathologically Retained in Vitiligo.	J. Cosmetics, Dermatological Sciences and Applications. 2023年3月; 13: 38-44			B
1. 論文	(2) 総説及び解説	査読無	鈴木民夫	白斑の診療ガイドライン.	美容皮膚医学BEAUTY. 2022年5月; 42(5): 6-13			
1. 論文	(2) 総説及び解説	査読有	岡村賢	Geneticsから考える白斑の病態と治療戦略.	皮膚科. 2022年12月; 2(6): 743-753			
1. 論文	(3) 症例報告	査読有	Tokito T, Sakamoto N, Ishimoto H, Okuno D, Miyamura T, Hara A, Kido T, Yamamoto K, Yamaguchi H, Obase Y, Akazawa Y, Okamura K, Suzuki T, Ishimatsu Y, Mukae H.	Pulmonary and Intestinal Involvement in a Patient with Myeloperoxidase-specific Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-positive Hermansky-Pudlak Syndrome.	Intern Med. 2023 Jan; 62(1): 103-106 PMID: 35676038	IF=1.282, Q4		B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有	神崎美玲, 加畑隆通, 塚越隆司, 岡村賢, 鈴木民夫	Hermansky-Pudlak症候群1型と考えられた1例.	皮膚科の臨床. 2022年4月; 64(4): 604-605			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有	高山恵律子, 吉岡晶子, 宇津永遠, 齊藤亨, 岡村賢, 鈴木民夫	高齢で眼皮膚白皮症の診断に至った1例.	皮膚科の臨床. 2022年8月; 64(8): 1399-1402			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有	新井陽介, 村田杏大, 矢口順子, 紺野恵理子, 鈴木民夫	陰囊部 verruciform xanthomaの2例.	皮膚病診療. 2023年3月; 45(3): 272-275			
1. 論文	(4) 著書		阿部優子	白斑の動物モデルの作成とその応用.	美容皮膚医学BEAUTY. 2022年5月; 5(5): 32-39			
1. 論文	(4) 著書		鈴木民夫	美容皮膚科学を学ぶために知るべきメラニン学.	尾見徳弥, 宮田成章, 宮地良樹, 森脇真一編, 新しい美容皮膚科学. 東京: 南山堂, 2022年9月: 41-46			
1. 論文	(4) 著書		鈴木民夫	扁平母斑、カフェオレ斑.	高橋健造, 佐伯秀久編. 皮膚疾患最新の治療 2023-2024. 2023年1月: 272			
1. 論文	(4) 著書		鈴木民夫, 中野祥子	炎症後色素沈着: モデル動物の解析.	鈴木民夫編, Monthly Book Derma. 全日本病院出版会, 2023年1月: 330: 65-73			
1. 論文	(4) 著書		阿部優子	健常人の皮膚色.	鈴木民夫編, Monthly Book Derma. 全日本病院出版会, 2023年1月: 330: 19-27			
1. 論文	(4) 著書		岡村賢	【色素異常症診療のポイント】眼皮膚白皮症.	鈴木民夫編, Monthly Book Derma. 全日本病院出版会, 2023年1月: 330: 28-35			
1. 論文	(4) 著書		荒木勇太	雀卵斑とその鑑別疾患.	鈴木民夫編, Monthly Book Derma. 全日本病院出版会, 2023年1月: 330: 36-42			
1. 論文	(5) レター	査読有	Abe Y, Okamura K, Ito S, Hozumi Y, Suzuki T	The effect of a topical vitamin D3 analog on repigmentation in mice with rhododendrol-induced leukoderma.	J Dermatol Sci. 2022 Apr; 106(2): 127-129 PMID: 35487790	IF= 5.408, Q1		B

業績分類			査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(1) 国際学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		鈴木民夫	Animal models of vitiligo: Study of Rhododendrol (RD)-induced leukoderma.	The 12th Asia Dermatology Conference, Tokyo, Aug 2022			
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		阿部優子	病態、鑑別、そして治療の最前線その2「動物モデルと色素再生」.	第121回日本皮膚科学会総会, 京都; 2022年6月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	川口純之介, 角田孝彦, 佐藤文子	化粧品に含まれるピロ亜硫酸ナトリウムによる接触皮膚炎.	第121回日本皮膚科学会総会, 京都; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Saito T, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T	NGS-based targeted sequencing unveiled 20% of Japanese patients with albinism were Hermansky-Pudlak Syndrome.	The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for Pigment Cell Research, Tokyo Nov 2022			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Abe Y, Hozumi Y, Okamura K, Suzuki T	Expression of Discoidin Domain Receptor 1 and E-cadherin in epidermis affects melanocyte behavior in rhododendrol-induced leukoderma mouse.	The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Nagasaki; Dec 2022			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Araki Y, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T	Establishment of a mouse model with the SASH1 mutation.	The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Nagasaki; Dec 2022			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Okamura K, Abe Y, Naka I, Ohashi J, Hozumi Y, Suzuki T	The role of T-cadherin in the development of chemical-induced vitiligo: new insights from a genome-wide association study.	The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Nagasaki; Dec 2022			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Saito T, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T	NGS-based targeted sequencing unveiled 20% of Japanese patients with albinism were Hermansky-Pudlak Syndrome.	The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Nagasaki; Dec 2022			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	村田壱大, 新井陽介, 矢口順子, 紺野恵理子, 鈴木民夫	芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例.	第121回日本皮膚科学会総会, 京都; 2022年6月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	齊藤亨, 岡村賢, 紺野隆之, 二階堂まり子, 荒木勇太, 吉岡千春, 鈴木民夫	手背に網状色素沈着を呈する2疾患の比較検討.	第121回日本皮膚科学会総会, 京都; 2022年6月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無	紺野隆之, 岡崎尚子, 鈴木民夫, 市川翼	* 皮下硬結を呈したエルドハイム・チェスター病の皮膚浸潤と考えた1例.	第38回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 弘前; 2022年6月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無	山本皓平, 岡村賢, 永谷圭, 鈴木民夫	MITF遺伝子の新規ミスセンス変異によるTietz症候群の1例.	第48回皮膚かたち研究学会学術大会, Web; 2022年7月			
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読無	山本皓平, 岡村賢, 林昌浩, 矢口順子, 齊藤亨, 新井陽介, 鈴木民夫, 熊谷恒良	眼皮膚白皮症4型 (OCA4) に発生した低色素性悪性黒色腫の1例.	第86回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 新潟; 2022年8月			B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有	Okamura K, Abe Y, Naka I, Ohashi J, Nagatani K, Hozumi Y, Suzuki T	T-cadherin is associated with sensitivity to Rhododendrol by affecting tyrosinase expression in NHEM.	日本色素細胞学会第31回学術大会, 東京; 2022年12月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	i 特別講演・招待講演・会長講演		鈴木民夫	しみと白斑のお話.	日本臨床皮膚科医会東北ブロック総会・学術大会2023, web; 2023年3月			

業績分類			査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	齊藤亨, 山本皓平, 永谷圭, 鈴木民夫	ドバミン塩酸塩の血管外漏出の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	矢口順子, 角田孝彦, 細川雅司, 濱口儒人, 松下貴史, 鈴木民夫	* 旧姓骨髓性白血病を発症した皮膚筋炎の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	永谷圭, 岡村賢, 片桐一元, 荒木勇太, 齋藤亨, 穂積豊, 鈴木民夫	KITの新規ナンセンス変異によるまだら症の一例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	川口純之介, 新井陽介, 角田孝彦	救命しえた超高齢者に生じた壊死性筋膜炎の一例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	熊谷恒良	両側性対称性帯状疱疹の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	熊谷恒良, 渡辺哲	単純型先天性表皮水疱症の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	熊谷恒良, 牧野孝俊	同時両側性男性乳癌の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	島貫美和	イカチバンドを導入した遺伝性血管性浮腫の一例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	吉岡千春, 紺野隆之, 二階堂まり子, 荒木勇太, 岡村賢, 鈴木民夫	右側腹部帯状疱疹による腹筋麻痺の診断にエコー検査が有用であった1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	角田孝彦, 川口純之介	シャンプーとコンディショナーに含まれるメチルイソチアゾリンによる接触皮膚炎.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	角田孝彦, 川口純之介	テルビナフィリンクリーム中のセタノールによると思われる接触皮膚炎.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	鈴木民夫, 岡村賢, 齋藤亨, 阿部優子, 紺野隆之	眼皮膚白皮症 (OCA) における遺伝カウンセリングについて.	第78回日本皮膚科学会高知地方会, 高知; 2022年4月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	紺野恵理子, 林昌浩, 村田壺大, 矢口順子, 吉岡千春, 鈴木民夫, 氷室真仁, 吉田幸恵	* 濾胞性リンパ腫 (FL) に伴いオビヌズマブを投与された腫瘍随伴性天疱瘡 (PNP) の1例.	日本皮膚科学会 東北六県合同地方会学術大会第398回例会, 仙台; 2022年5月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	新井陽介, 村田壺大, 矢口順子, 齋藤亨, 鈴木民夫, 市川翼, 氷室真仁, 石澤賢一	* 皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫 (SPTCL) の2例.	日本皮膚科学会 東北六県合同地方会学術大会第398回例会, 仙台; 2022年5月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	角田孝彦, 川口純之介	血管拡張性肉芽腫の結紮療法の改良 バイクリルラビッドで結紮してみた.	日本皮膚科学会 東北六県合同地方会学術大会第398回例会, 仙台; 2022年5月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	村田壺大, 川口純之介, 紺野恵理子, 岡村賢, 荒木勇太, 紺野隆之, 鈴木民夫, 岡崎慎史	* 直腸切断術を行った殿部に棘細胞癌の一例.	日本皮膚科学会 宮城・福島・山形3県合同地方会学術大会第399回例会, 仙台; 2022年9月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	新井陽介, 二階堂まり子, 岡村賢, 紺野隆之, 荒木勇太, 吉岡千春, 池田梓, 鈴木民夫, 菅原正登, 工藤勝秀	* 原発巣切除13年後に late recurrence を来した右下腿悪性黒色腫の一例.	日本皮膚科学会 宮城・福島・山形3県合同地方会学術大会第399回例会, 仙台; 2022年9月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	池田梓, 紺野隆之, 荒木勇太, 齋藤亨, 鈴木民夫	線状基底細胞癌の2例.	日本皮膚科学会 宮城・福島・山形3県合同地方会学術大会第399回例会, 仙台; 2022年9月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	吉岡千春, 角田孝彦, 大竹浩也, 鈴木紀子	口唇に発生したglycogenic acanthosisの1例.	日本皮膚科学会 宮城・福島・山形3県合同地方会学術大会第399回例会, 仙台; 2022年9月			E

業績分類			査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	紺野恵理子, 村田杏大, 川口純之介, 鈴木民夫, 鎌田恭平	* 皮下腫瘍・硬結を契機に診断した副鼻腔癌の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	新井陽介, 岡村賢, 斎藤亨, 鈴木民夫, 伊藤義彦	COVID-19 罹患後にAcute Localized Exanthematous Pustulosis (ALEP) を来した一例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			B
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	池田梓, 紺野隆之, 荒木勇太, 斎藤亨, 鈴木民夫	頭部熱傷瘢痕癌の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	櫻田ひかり, 紺野隆之, 荒木勇太, 斎藤亨, 池田梓, 岡崎尚子, 鈴木民夫	当科にてステロイドパルス療法を行った特発性後天性全身性無汗症 (AIGA) 18例の検討.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	角田孝彦, 吉岡千春, 長谷川慎, 木村淳, 大竹浩也, 東海林真司	Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasia (BPDCN) の1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	角田孝彦, 吉岡千春, 東海林真司, 泉健太郎, 石井文人, 橋本隆	テネリアによる水疱性類天疱瘡と思われる1例.	日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			E
2. 学会報告	(3) 国内地方会	iii 一般演題	査読無	鈴木民夫, 斎藤亨, 岡村賢	遺伝カウンセリングにおける眼皮膚白皮症2型 (OCA2) に再発率について.	第111回日本皮膚科学会群馬地方会, 高崎; 2022年11月			
2. 学会報告	(4) 研究会	i 特別講演・招待講演・会長講演		鈴木民夫	しみと白斑のお話.	宇都宮講演会, 宇都宮; 2022年5月			
2. 学会報告	(4) 研究会	i 特別講演・招待講演・会長講演		鈴木民夫	白斑を呈する色素異常症について.	WAKAYAMA Derma Webセミナー, Web; 2022年8月			
2. 学会報告	(4) 研究会	i 特別講演・招待講演・会長講演		鈴木民夫	白斑を呈する色素異常症について.	Fujita Health University Dermatology Symposium, Web; 2022年12月			
2. 学会報告	(4) 研究会	iii 一般演題	査読無	Okamura K, Shan S, Tang Q, Pranitha V, Fan X, Lopez C, Cao Y, Ko WC, Khvorova A, Garber M, Harris JE	A vitiligo-associated SNP, rs706779 controls the isoform profile of IL15RA in human epidermal keratinocyte.	第36回表皮細胞研究会, 東京; 2022年10月			D
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催				会長 鈴木民夫		日本皮膚科学会山形地方会総会・第397回例会, 山形; 2022年4月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催				会頭 鈴木民夫		第4回日本白斑学会学術大会, 山形; 2022年9月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催				会長 鈴木民夫		日本皮膚科学会山形地方会総会・第400回例会, 山形; 2022年11月			
5. 学会等での受賞				阿部優子, 永谷圭, 鈴木民夫, 藤井順逸	* 2021年度ポーラ化成工業 (株) 白斑研究助成 ロドデンドロールによるメラノサイト細胞死メカニズムについて.	第4回日本白斑学会学術大会, 山形; 2022年9月			
6. その他				齊藤亨	アトピー性皮膚炎について.	第29回アレルギー週間市民公開講座そうだったのか! アレルギー疾患, 山形; 2023年3月			